

～町田市パートナーシップ宣誓者の 皆さんに話を聞きました!～

Q1.町田市でパートナーシップ宣誓をした理由を教えてください。



KとR

存在していることを表明するためです。



ゆう

以前住んでいた川崎市でパートナーシップ宣誓をしていたのですが、町田市内に今年7月に引っ越して来たので、改めて宣誓させていただきました。



福耳

同性パートナーと人生を共にしているカップルがいることを可視化するためです。



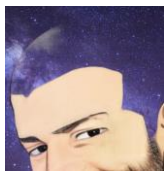
山田

同性婚ができないからです。



まめくん

私と彼氏は15年間付き合っています。この15年の間に、私たちは恋人から安定した家族のパートナーへと完全に成長しました。私たちはお互いの感情が一般的な異性愛者の夫婦やパートナーに劣らないと確信しており、同じように幸福と喜びを享受しています。都心のアパートから町田市に引っ越し、一緒に暮らし始めてから10年が経ちました。私たちは普段、誠実に働き、他者を大切に、社会の一員として社会からの認知と保障を求めています。



音霧

パートナーが町田市に転居したからです。



リチャード

パートナーシップ制度を活用しなければ、将来的に法律で同性婚が認められないと思ったためです。

Q2.宣誓をしてよかったと感じることはありますか。



KとR

自分が住んでいる自治体に存在を認識してもらっていることです。それとともに自分たちの存在を書面という一つの形として可視化できていることも、良かったと感じています。



ゆう

2年前に川崎市で宣誓していたので、今回は特に変化はありませんでした。



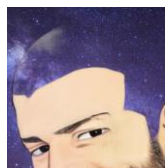
福耳

こうやって市の取り組みとして当事者がアンケートに答える機会があるのは可視化した成果だと思っています。



私たちは以前、渋谷区が最初に導入したLGBTの条例を非常に羨ましく思っていました。そして2023年、ついに私たちが住んでいる町田市でパートナーシップ宣誓制度が導入することができました。同年の9月、家族に見守られながら町田市の男女平等推進センターで、私たちが夢見ていたパートナーシップ宣誓書を取得しました。この日は将来の結婚記念日として大切に記念するつもりです。

町田市が私たちに自己認識の自信を与えてくれたことに心から感謝します。これは私たちの感情に対する最高の証明です。



音霧

以前は同じ自治体に住んでパートナーシップを宣誓していましたが、自治体ごとに宣誓し直すのは不便と感じました。



リチャード

親にカミングアウトすることができる良いきっかけとなりました。



イラスト ikeko

Q3.LGBT当事者であることで、生きづらさを感じたことはありますか。

➡ ある(100%)

Q4.その生きづらさとはどんなことですか。



ライフステージの変化に伴い公的な契約が必要となる場面での不便さ(賃貸、住宅ローン、婚姻)です。
男女カップルでないことで理不尽に断られる、契約関連で手間やお金が余分にかかってしまいます。
また、小さな話題(パートナーが奥さんである、という前提で結婚してるのか、パートナーはどんな人か、子供はいるのか、など)の矛先を振られると「どこまで話していいかなー」と瞬時に頭を切り替える必要があるところは、生きづらい部分かもしれません。



カミングアウトしてない周囲の人達、特にいまだに親にウソをつかなければいけなかったり、言えないことが多いことがとても辛かったり、誤解を生むことになってしまう時には、全ての周囲の人に、正直に話ができてカミングアウトできる関係になれる世の中だったら、どんなに楽に生きていけるだろうと、心から強く強く思う私です!



家族、親族、近所のひとに言えないことです。
会社の同僚、上司になぜ結婚しないのか？理由を聞かれます。
また異性のパートナーがいるひとが当たり前のようにプライベートの話をしていますが、会話に入れません。
自分の性とは異なる性（女性なら彼氏、男性なら彼女）の相手がいるのかきかれることも生きづらさを感じます。



結婚という基本的な権利が認められない事への不平等さによる自尊心の欠如です。



職場における性の多様性の保障はまだ十分ではなく、現在の職場環境では、カミングアウトするための勇気を持つことが難しいです。



音霧

当事者でなくても生きづらさを感じることはあると思います。
その違いはよくわかりません。



リチャード

パートナーが同性であるということを周りに言ったら気を使われたり、偏見のある目で見れるようになってしまうと
考え、友人や会社で思うように話ができないことです。

Q5.周囲の人の言動や行動で嬉しかったことはありますか。



KとR

仕事の場などでの軽い雑談の場でもプライベートの恋愛や結婚、家族などの話題を避けるなど考慮してくれたことです。余程親しい仲でなければそうした話題をあげるのはセンシティブであるとも思うので、いい意味で無関心で放っておいてくれるのはとてもありがたいです。



ゆう

若い頃、憧れていた人が自分と同じようにやはりゲイであることが分かり、しかもしばらくの間、恋人のような関係で付き合うことができたことです。

また自分の仕事の同僚にカミングアウトできました。仕事の場での教え子数人と、別々にそれぞれ思いがけないタイミングでカミングアウトして、今でも気楽に恋人との話を聴いてもらえたり、繋がったり会ったりできる関係になれたことは嬉しかったです。



福耳

(カミングアウト関係なく) 彼氏、彼女、旦那、奥さんという言葉を使わず、「パートナー」と言いかえてくれることです。

(カミングアウト後)

特別扱い好奇心丸出しにせず自然に接し、話を聞いてくれることです。



リチャード

友人にカミングアウトした時に、今まで勝手に彼氏と思って相手の方のこと彼氏って呼んでてごめんね。今は多様性の時代なんだから彼氏でも彼女でも当たり前だよ!と、言ってくれた時嬉しかったです。

Q6.これからの社会に望むことがあれば、ご記入ください。



LGBT理解増進法という曖昧な法律より、上記のような当事者が不便を感じる具体的なケースを一つ一つ解決していくような法律が制定されるようになってほしいと思います。

これからの子供達や若い子達が、成長しても卑屈にならず、常に自分自身でいられて、「男が好き、女が好き、両方が好き、誰も好きではない」などの特性が個性として尊重され、人生を過ごしやすい社会になればいいなと思います。



同性婚を正式に国が認めてほしいです。
同性の恋人同士が《普通》のカップルとして、堂々と手を繋いで街中を普通に歩ける世の中であってほしいです!



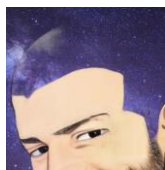
日本での同性婚合法化実現を望みます。



法制度が整うことです。



この宣誓は法律的な効力が非常に限られていますが、いつか性の多様性が完全に認識され、法的に平等な権利が性の多様性によって奪われることがないと信じています。その日が来るのを静かに待ちながら、青空の下で全ての人々に幸せな微笑みを向けたいと思います。



音霧

同性婚を認めてほしいです。



リチャード



イラスト ikeko

Q7.読者・市民の皆さんに伝えたいことをご記入ください。



このインタビューに掲載されている考えや意見はLGBT当事者の総意ではなく、多数派の皆さんと同じように実際は個人個人で異なる場合があるため、あくまでも一意見として捉えていただけると嬉しいです。また、LGBTという括りについてもそれぞれのアルファベットに当てはまる当事者によって環境や状況、悩みも大きく異なり、本来であれば一括りにするべきではないとも考えております（とはいえ言語化する上で時には必要になることは理解しています）。こういった人の性質は性的指向に限らず簡単にカテゴライズできるものではなく、実際は色の”グラデーション”のようなものであり本当に多種多様だとも考えています。そういった前提の上で、これを読んでいただいている方の心に留めていただけると幸いです。



同性カップル・同性婚を特別視しないで下さい！



全国各地の訴訟で、札幌高裁、東京高裁ではすでに法の下での平等を定めた憲法14条と、個人の尊厳と両性の平等に基づいた家族法の制定を求める24条に違反すると判断し違憲判決が出ています。

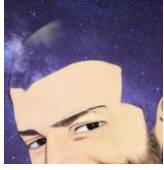
日本は主要先進国G7の中で唯一同性婚を認めていない遅れた国です。

日本政府は、一刻も早く法の下にあるすべての人に平等と個人の尊厳を。同性婚合法化の実現を願います。



山田

マジョリティが動くことが大事です。



音霧

BL小説を書くのが趣味ですが、自分は2人だけの世界のことばかり書いており、カミングアウトとかパートナーシップとかまったく絡めないで、つくづく全然興味ないんだな?と思いました笑 実際、旦那を愛してはいますが、2人だけで盛り上がればいいやという恋愛観です。



リチャード

あなたが周りにいる方と会話をする際に、「彼氏」「彼女」「旦那さん」「奥さん」はどんな人?等と性別を固定する聞き方ではなく、あなたの「パートナー」や「お付き合いしてる方」はどんな人?と聞いていただけると嬉しいです。

同性のパートナーがいる方であなたの「彼女」「彼氏」は??と聞かれてわざわざ否定できる人は少ないです。

そのため、話していても我々当事者はあなたに嘘をついているという後ろめたさがあり、距離を置いてしまう傾向があります。

また、あなたの「パートナー」は?と、聞いていただだけで、あなたご自身が多様性に理解があり、魅力的な人だと周りから思われるかと思います。

そのため、是非今日からは「パートナー」はどんな人?と聞いてみてください。相手がLGBTの方の場合いつもより嬉しそうに話してくれると思います。